

令和7年度【給付型奨学金(返還が不要)】募集一覧

学生支援課 奨学支援係

☆ 各奨学団体から案内が届き次第、この一覧を随時更新しています。

希望者は直接応募の奨学団体については、リンク先の財団HPより必要書類をダウンロードしてください。

直接応募以外の奨学団体については、ILIASの「奨学金情報」>1.令和7年度 奨学金募集一覧>1.令和7年度現在募集中の給付奨学金(返還が不要なもの)のご案内から必要書類をダウンロードしてください。

※申請期限の欄に「**直接応募**」となっている奨学金については、各自が奨学団体へ期限必着で申請してください。

令和7年12月24日

※掲載している奨学金は基本的に日本人学生対象となります。留学生の奨学金については留学生支援係に問い合わせください。

募集集中
募集集中
終了
終了
終了
終了
終了
終了
終了
終了
終了
終了

No	奨学団体名	募集内容等			給付 貸与	海外留 学 奨学金	併給	留学生 申請可 否	申請期限	備 考
		応募対象	応募人員	奨学金月額						
73	社会福祉法人 さぼうと21 (2026年度生活支援プログラム)	学部・修士・博士 難民とその子、中国帰国者、日系定住者およびその子 原則として「定住」「永住」の在留資格をもつ者	20名程度	30,000円 ※期間は1年間	給付		△	×	直接応募 (2026.1.31)	・留学生は対象とならない ・さぼうと21の他プログラムとの併給は不可
72	(公財)渡邊財団 (渡邊利三国際奨学金)	修士・博士 40歳以下の日本人学生で海外の大学や研究機関に 留学が概ね決定している留学予定者	10名程度	200,000円 ※期間は最大10か月	給付	○	○	×	直接応募 (2026.2.20)	・留学開始が2026年4月～2027年3月で期間6ヶ月以上 ・行事への参加、報告書の提出等あり。
71	(公財)岩谷直治記念財団 (2026年度日本人大学院生奨学助成)	修士・博士(年齢制限あり) 2026年4月1日時点で、修士は満30歳未満、博士は満35歳未満の者 日本に在住し、大学院に在籍、または入学決定者。	5～10名程度	150,000円 ※期間は最長2年間	給付		△	×	直接応募 (2025.12.20)	・大学からの月額10万円未満の奨学金のみ併給可。 ・受給中は、例会等に参加すること。 ・奨学期間中に日本を離れる予定のない者。
70	(一財)生涯学習開発財団 (2025年度博士号取得支援事業)	博士(2025年12月31日現在 満50歳以上) 博士号取得予定の者	定めなし	一時金 50万円 ※2026年3月予定	給付		○	○	直接応募 (2025.12.5)	・当財団webサイト等に氏名・論文要旨などの公開を了承する者 ・授与式の出席を了承する者(2026年3月開催予定)
69	(一財)荒井芳男記念財団 (2026年度奨学生募集)	学部1～4年 ※2026年4月1日において 2025年4月1日現在で23歳以下である者。 機械・化学・電気系の学科に在籍している者。	35名程度	年額20万円 ※年額で期間は1年間	給付		○	×	直接応募 (2025.12.19)	・最短修業年限で卒業見込みであること ・報告書の提出等あり
68	(一財)TCS奨学会 (2026年度奨学生募集)	学部2年生以上・修士 ※2026年度において 2025年度に在籍しており、進学、進級見込みである者。	30名程度	50,000円 ※期間は1年間	給付		○	×	直接応募 (2025.11.28)	・直近の学業成績GPAが3. 3以上の者 ・最短修業年限で卒業見込みであること ・財団の行事(懇親会等)へ参加すること
67	(公財)ユニオンツール育英奨学会 (令和8年度予約奨学生募集)	学部4年生・修士2年生 令和8年4月進学予定者	若干名	60,000円(学 部) 70,000円(大学院) ※期間は1年間	給付		○	×	2025.11.10	・入学を条件での採用となります。 ・扶養義務者の総所得金額が600万円程度以下あること
66	(公財)本庄国際奨学財団 (2026年度奨学生募集)	修士・博士(年齢制限あり) 2026年4月に大学院に在籍、または入学する者 大学院修了後は母国に貢献する将来計画を持つ者	若干名	23万円を1～2年間 21万円を3年間 18万円を4～5年間	給付		×	×	直接応募 (2025.10.31)	・日本學術振興会特別研究員等以外の併給は不可。 ・受給中は、面談・行事等に参加すること。 ・在籍期間が残り1年未満の者は応募不可。
65	(一財)田中孝典記念教育財団 (田中孝典記念奨学金)	学部3年生 25歳以下の者(応募締切時点)	10名	年額48万円 ※期間は2年間	給付		○	×	直接応募 (2025.10.31)	・12月下旬に年額を一括給付 ・GPAが3.00以上の者。
64	(一財)KUROKI FOUNDATION (黒木育英会奨学金)	学部3年生 25歳以下の者(応募締切時点) 両親又は片親がいない世帯に属していること	10名	年額48万円 ※期間は2年間	給付		○	×	直接応募 (2025.9.30)	・11月下旬に年額を一括給付 ・GPAが3.00以上の者
63	(公財)帝人奨学会 (2027年度奨学生募集)	博士進学予定者 2026年9月または2027年4月進学予定者	10名程度	100,000円	給付		○	○	直接応募 (2025.9.25)	・書類選考後2次選考及び最終選考あり ・選考合格後、博士課程に進学しない場合は給付対象外 ・海外留学する場合、正規の修学期間を上限に給付継続
62	(一社)大学女性協会 (新潟支部奨学賞)	・学部・大学院の女子学生	若干名	奨学金として 5万円(一時金)	給付		○	○	直接応募 (2025.9.25)	・小論文の提出あり ・過去の実績者は申請できない ・奨学賞授与式(2025年11月29日)に出席可能なこと
61	(公財)中島記念国際交流財団 (2026年度日本人奨学生)	修士・博士(年齢制限あり) 海外の大学の修士号又は博士号取得のため留学する者 2026年4月から2027年3月までに入学予定の者	約10名	月額 30万円 その他 旅費・授業料等 ※期間は2年間(延長あり)	給付	○	×	×	直接応募 (2025.8.20)	・2026年4月1日現在、30歳以下である者 ・対象分野:情報科学、生命科学、経営科学

令和7年度【給付型奨学金(返還が不要)】募集一覧

学生支援課 奨学支援係

☆ 各奨学団体から案内が届き次第、この一覧を随時更新しています。

希望者は直接応募の奨学団体については、リンク先の財団HPより必要書類をダウンロードしてください。

直接応募以外の奨学団体については、ILIASの「奨学金情報 > 1.令和7年度 奨学金募集一覧> 1.令和7年度現在募集中の給付奨学金(返還が不要なもの)のご案内」から必要書類をダウンロードしてください。

※申請期限の欄に「**直接応募**」となっている奨学金については、各自が奨学団体へ期限必着で申請してください。

令和7年12月24日

※掲載している奨学金は基本的に日本人学生対象となります。留学生の奨学金については留学生支援係に問い合わせください。

No	奨学団体名	募集内容等			給付 貸与	海外留 学 奨学金	併給	留学生 申請可 否	申請期限	備 考
		応募対象	応募人員	奨学金月額						
60	(一財)種とまと財団 (2026年度奨学生)	学部3年生・修士学内進学決定者(学部4年生)	学内枠 1名	80,000円	給付		△	×	2025.10.10	・民間の奨学金との併給は不可 ・財団の報告会等には必ず出席すること ・それぞれ学部4年次、修士課程1・2年次の間支給
59	(公財)吉田育英会 (日本人派遣留学プログラム 奨学生募集)	修士・博士(年齢制限あり) 海外の大学の博士号を取得する・海外の大学院同等の 研究機関で研究を行うことを目的とする者	5名程度	・月額2,500米ドル ・学校納付金250万円以内 ・往復渡航費	給付	○	△	×	直接応募 (2025.9.2)	・2025年4月1日現在、35歳未満である者 ・私費留学生である者 ・2026年4月から2027年3月までに留学を開始する者
58	(一財)日本知財人材育成財団 (正林真之記念奨学金)	学部3年生 25歳以下の者(応募締切時点)	10名	年額48万円 ※期間は2年間	給付		○	×	直接応募 (2025.8.31)	・10月下旬に年額を一括給付 ・前年度までの累計GPAの標準が3.00以上の者
57	(公財)伊藤国際教育交流財団 (2026年度日本人奨学生)	学部・修士 日本から海外の大学等の修士課程に留学する日本人留学生 2026年1月から12月末日までに入学予定の者	10名程度	月額:US1,500～2,000 ドル相当の円貨(原則2年) その他 旅費・授業料	給付	○	×	×	直接応募 (2025.8.20)	・財団の指定する日(10/25または11/16)に面接を受けられること ・財団の奨学生として、留学前にガイダンスに参加できること ・2026年4月1日時点において、年齢が29歳以下が望ましい
56	(一社)大学女性協会	・修士・博士在籍1年以上の女子学生(一般奨学生) ・学部・修士・博士在籍1年以上の女子学生で身体に障害が ある者(社会福祉奨学生)	学内枠 各部門1名	年額200,000円(学部) 年額300,000円(修士・博士) ※給付は一回限り	給付		○	○	2025.8.12	・過去の授与者は申請できない ・報告書の提出あり
55	CWAJ奨学金 (2026年度CWAJ奨学金)	学部2年生以上・修士・博士 ・2025年中に海外の大学院等へ留学予定の女子学生 ・国内の大学等に在学する視覚障害者	若干名	100～350万円(年額) ※期間は1～2年間	給付	△	△	△	直接応募 (2025.10.6)	・他の団体から受ける奨学金に制限あり ・視覚障害学生の応募締切は11月7日
54	(公財)天野工業技術研究所	後期博士課程1年次に在籍する学生	45名	年額 1,800,000円 ※期間は最長3年間	給付		△	○	直接応募 (2025.6.30)	・他奨学団体からの併給制限あり ・当財団の電子申請システムより申請手続きを行う。 ・年次成果の報告義務あり。
53	(公財)似鳥国際奨学財団 (2025年度下期奨学生)	学部・修士	最大 450名	50,000～80,000円 給付期間は 2025年10月～2026年9月	給付		△	○	直接応募 (2025.5.21)	・学業要件及び収入要件あり ・給付型奨学金との併給不可 ・来日留学生募集もあり
52	(公財)重田教育財団 (海外留学奨学金)	学部・修士・博士 海外の大学又は大学院への入学が決定している者 留学先への渡航までの期間は日本に在住していること	5名	年額240万円 給付期間は2年	給付		○	×	直接応募 (2025.6.30)	・日本国籍を有する者 ・報告書の提出等あり
51	(公財)原・フルタイムシステム科学 技術振興財団	学部3年生、修士1年生、博士1年生 募集年度4月1日時点で30歳以下であること	15名程度	40,000円 期間は最短修学期間 初年度のみ9月給付開始	給付		○	×	直接応募 (2025.6.10)	・毎年5月に在学証明書・成績証明書の提出あり ・年に2回(1月、8月)レポート提出あり ※ 願書等は財団HPからダウンロードすること
50	(公財)佐々木環境技術振興財団	学部・修士・博士 環境に関する産業科学技術の分野を専攻する学生	17人程度	360,000円(年額) ※期間は1年間	給付		○	○	2025.4.21	・給付金の交付は、8月中旬までに交付
49	(公財)交通遺児育英会	学部・修士・博士(25歳以下) 保護者等が道路における交通事故で死亡したり、 重い後遺障害のため働けなくなった家庭の学生	300名(学部) 20名(大学院)	(学部)4・5・6万を選択 (大学院)5・8・10万を選択 (それぞれうち2万は給付)	給付 ／ 貸与		○	×	直接応募 (2025.10.31)	・B1は入学一時金もあり ・予約応募あり 1次予約:8月31日締切、2次予約:令和8年1月31日締切
48	(一財)大森昌三記念財団	1年生を除く学部生・修士・一貫制博士・博士 2025年4月2日時点で、学部生は満23歳以下、修士 は満26歳以下、博士は満33以下の者	25名程度	30,000円 ※期間は最短修学期間	給付		○	○	2025.6.6	年度末に報告書等の提出あり
47	(一財)永井知覚科学振興財団	学部・修士・博士 知覚に関する科学技術及びそれを用いた工業技術を 専攻する学生	36件	300,000円(年額) ※期間は1年間	給付		○	○	2025.4.21	・終了後、感想文の提出あり
46	(一財)谷育英財団	学部3年生 25歳以下の者(募集締切日時点)	10名	年額48万円 ※期間は2年間	給付		○	×	直接応募 (2025.5.31)	・選考結果は7月中旬に通知 ・前年度までの累計GPAの標準が3.00以上の者

令和7年度【給付型奨学金(返還が不要)】募集一覧

学生支援課 奨学支援係

☆ 各奨学団体から案内が届き次第、この一覧を随時更新しています。

希望者は直接応募の奨学団体については、リンク先の財団HPより必要書類をダウンロードしてください。

直接応募以外の奨学団体については、ILIASの「奨学金情報」>1.令和7年度 奨学金募集一覧>1.令和7年度現在募集中の給付奨学金（返還が不要なもの）のご案内から必要書類をダウンロードしてください。

※申請期限の欄に「**直接応募**」となっている奨学金については、各自が奨学団体へ期限必着で申請してください。

令和7年12月24日

※掲載している奨学金は基本的に日本人学生対象となります。留学生の奨学金については留学生支援係に問い合わせください。

No	奨学団体名	募集内容等			給付 貸与	海外留 学 奨学金	併給	留学生 申請可 否	申請期限	備 考
		応募対象	応募人員	奨学金月額						
45	(公財)山村章奨学財団	学部3年生 25歳以下の者(募集年度4月1日現在)	10名	年額48万円 ※期間は2年間	給付		○	×	直接応募 (2025.5.31)	・選考結果は7月中旬に通知 ・前年度までの累計GPAの標準が3.00以上の者
44	(公財)中島洋三記念化学振興財団	学部3年生 25歳以下の者(応募締切時点)	10名	年額48万円 ※期間は2年間	給付		○	×	直接応募 (2025.5.31)	・7月下旬に年額を一括給付 ・前年度までの累計GPAの標準が3.00以上の者
43	(公財)日揮・実吉奨学会	学部・修士・博士 4月2日時点で学部23歳、修士25歳、博士26歳以下 日本学術振興会特別研究員採用者でないこと	学内枠 2名	400,000円(年額) ※期間は1年間	給付		○	×	2025.5.9	・当財団の奨学金に採用されたことがないもの ・9月～12月開催の面談に必ず出席すること
42	(公財)バロック村井博之財団	学部 日本国内に居住する者で、日本国内の大学に在学する日本人学生 及び外国人留学生	30名程度	年額40万円	給付		×	○	直接応募 (2025.5.16)	・財団の企画する行事への参加に協力することができる者 ・他の給付型奨学金を受給していない者
41	(公財)木原財団	学部3年生 25歳以下の者(応募締切時点)	10名	年額48万円 ※期間は2年間	給付		○	×	直接応募 (2025.5.31)	・7月下旬に年額を一括給付 ・前年度までの累計GPAの標準が3.00以上の者
40	(一財)センコーみらい財団	学部生(新1年生入学者) 高校在学時に修学支援新制度に「予約採用」で申込み、決定した方 自宅外通学者であること	20名	50,000円 ※期間は最短修学期間	給付		△	×	直接応募 (2025.4.15)	・高等教育の修学支援新制度以外の他制度の併給は原則不可 ・入学一時金あり
39	(公財)神保教育文化財団	学部3年生 25歳以下の者(応募締切時点)	10名	年額48万円 ※期間は2年間	給付		○	×	直接応募 (2025.5.31)	・7月下旬に年額を一括給付 ・前年度までの累計GPAの標準が3.00以上の者
38	(公財)中部奨学会	学部(給付、貸与)・修士(給付、貸与)・博士(給付) 	学部:給付2、貸3 修士:給付2、貸2 博士:給付3	35,000円(学部) 60,000円(修士) 60,000円(博士)	給付 ／ 貸与		○	×	2025.4.18	・学部、修士は給付と貸与で希望する区分を選択。(両方に応募可能。) ・財団HPで出願手続きをしてから願書等を提出 ・学内枠は募集枠と同様
37	(一財)古宮誠一記念教育財団 (令和7年度奨学生募集)	学部3年生(応募締切日時時点で25歳以下であること)	10名	年額48万円 ※期間は2年間	給付		○	×	直接応募 (2025.5.31)	・学力の基準はGPAが3. 0以上の者 ・家計基準あり ・7月下旬に年額を一括給付
36	(一財)金岡教育財団 (令和7年度奨学生募集)	学部3年生(応募締切日時時点で25歳以下であること)	10名	年額48万円 ※期間は2年間	給付		○	×	直接応募 (2025.5.31)	・学力の基準はGPAが3. 0以上の者 ・家計基準あり ・7月下旬に年額を一括給付
35	(一財)清水育英会	学部2年生以上・大学院(修士課程) 建築、土木又は都市計画等を専攻するもの	50名程度	50,000円 ※期間は最短修学期間	給付		○	○	2025.5.9	・年齢制限あり ・学力要件及び収入要件あり
34	(一財)楠田育英会	学部2年生以上 将来社会に貢献する志、学内外での実践活動、 ボランティア活動等の経験を重視する	13名	30,000円 ※期間は最短修学期間	給付		○	×	2025.4.8	6月29日と11月16日の研修会に参加できる者 毎年度末に活動状況報告書等の提出書類あり
33	(公財)朝鮮奨学会	学部・修士・博士・専門職 韓国人・朝鮮人学生(特別永住者等) 2024年4月1日現在、学部生は満30歳未満、大学院生は満40歳未満	770名(学部) 110名(修士、 博士、専門職)	2.5万円(学部) 4万円(修士・専門職) 7万円(博士) ※期間は1年	給付		○	○	直接応募 (2025.4.25)	・インターネット受付専用ページから申込 ・行事への参加あり。 レポート年2回提出あり
32	(公財)ユニ・チャーム共振財団	学部3年・修士1年 	学内枠 1名	40,000円 ※期間は2年間が上限	給付		○	×	2025.4.17	・年度終了後、報告書の提出あり
31	(一財)いであ環境・文化財団	学部2年生以上・修士・一貫制博士・博士 将来、環境保全の分野で社会貢献を目指すための専門科目 を専攻していること	学内枠 学部3名 大学院3名	200,000円(年額) ※給付は一回限り	給付		○	○	2025.4.21	・1人の推薦者が推薦できるのは1人 ・他奨学金との併給可 ・学力の基準はGPAが2.5以上の者

令和7年度【給付型奨学金(返還が不要)】募集一覧

学生支援課 奨学支援係

☆ 各奨学団体から案内が届き次第、この一覧を随時更新しています。

希望者は直接応募の奨学団体については、リンク先の財団HPより必要書類をダウンロードしてください。

直接応募以外の奨学団体については、ILIASの「奨学金情報 > 1.令和7年度 奨学金募集一覧> 1.令和7年度現在募集中の給付奨学金(返還が不要なもの)のご案内」から必要書類をダウンロードしてください。

※申請期限の欄に「**直接応募**」となっている奨学金については、各自が奨学団体へ期限必着で申請してください。

令和7年12月24日

※掲載している奨学金は基本的に日本人学生対象となります。留学生の奨学金については留学生支援係に問い合わせください。

No	奨学団体名	募集内容等			給付 貸与	海外留 学 奨学金	併給	留学生 申請可 否	申請期限	備 考
		応募対象	応募人員	奨学金月額						
30	在日本朝鮮人教育会 (朝鮮人奨学生)	学部 在日朝鮮人学生(国籍不問) 30歳未満の者		年額16万円(1年生) 年額20万円(2年生以上) ※期間は1年間	給付		△	×	直接応募 (2025.5.31)	・本国からの留学生は応募不可 ・給付型奨学金との併給不可 ・行事への参加あり
29	(公財)TAKEUCHI育英奨学会	学部2・3年・修士1年・一貫制博士1年 長野県出身で機械工学、電気工学・制御工学等の理工系の学生	70名程度	60,000円 ※期間は2年間	給付		○	×	2025.4.28	・授与式・交流会(2025.8.8予定)への参加あり ・募集資格に該当すれば2年後に継続応募可能
28	(公財)中谷財団 (大学院生奨学金)	修士・博士 BME分野で博士号の取得を目指す者 (2026年春に大学院入学予定の者。学部生も予約応募可。)	11名程度	120,000円(修士) 200,000円(博士) ※期間は最短修学期間	給付		△	×	直接応募 (2025.6.2)	・民間の奨学金との併給は不可 ・奨学金給付対象期間が1年未満の者は応募不可
27	(一財)北野財団	学部2年生以上・大学院(修士課程) 理工系の学部で学ぶ学生	25名程度	30,000円 ※期間は最短修学期間	給付		○	○	2025.4.25	・4月1日現在での年齢制限あり ・成績要件、収入要件あり
26	(一財)オークラ育英財団	学部生(2年以上) 2025年4月1日現在で30歳以下の者	10名程度	30,000円 ※期間は1年間	給付		○	×	直接応募 (2025.4.30)	・当財団のウェブページより、直接応募 ・進級時及び卒業時には報告書等の提出あり
25	(公財)飯塚教育英会 (2025年度海外留学支援奨学生)	学部2年生以上・大学院生(29歳以下) 栃木県内の高校卒業者 2025年7月以降から9か月以上外国の大学に在籍予定者	15名	学部生 800,000(一括) 大学院生 1,200,000(一括) 博士3年生 1,500,000(一括)	給付	○	○	×	直接応募 (2025.6.3) ※オンライン申請	・応募書類の作成、提出前に必ず当ウェブページ確認のこと ・8月12日(火)開催の授与式に参加できる者 ・応募要件の留学時期及び留学期間を十分確認のこと
24	日米教育委員会 (フルブライト奨学金 大学院留学プログラム)	修士・博士 米国の大学院に留学し、正規の学生として学位取得の ための科目履修を行う予定の者	約20名	授業料全額支給	給付	○		×	直接応募 (2025.5.1) ※オンライン登録	・2026年5月1日までに米国希望留学先から正規入学許可を 得ること(博士号取得者済又は取得予定の者は除く) ・博士学生対象「大学院博士論文研究プログラム」もあり
23	(公財)昭瀝記念財団	学部2年生以上・大学院生 理工学を学ぶ者	学内枠 8名	25,000円 ※期間は1年間	給付		○	×	2025.4.18	・年1回程度交流会の参加あり ・報告書等の提出あり
22	(公財)清国奨学会	学部1年、3年(編入生)・修士1年 ・原則として入学時年齢25歳以下であること	15名程度	25,000円 ※期間は最短修学期間	給付		○	×	直接応募 (2025.6.10)	・給付を受けた時は、その都度「受領書」の提出あり ・奨学生の間、毎年成績証明書、在学証明書の提出あり
21	(公財)ユニオンツール育英奨学会	学部・修士・一貫制博士・博士 経済的な理由のため、学費援助を必要とする者	70名	60,000円(学部) 70,000円(大学院) ※期間は1年間	給付		○	○	2025.4.9	・扶養義務者の総所得金額が600万円程度であること ・大学院志願者は小論文の提出が必要
20	(公財)マブチ国際育英財団	学部1・2年生 経済的に困窮し就学困難な者(世帯収入600万円未満) アジア諸国の国籍(日本国籍を含む)を有し日本に在住する	15人程度	100,000円 ※期間は1年間 入学一時金300,000円	給付		△	○	直接応募 (2025.4.13)	・給付型奨学金との併給には条件あり ・学力の基準はGPAが2.5以上の者 ・継続支給あり。但し最短修学期間
19	(一財)鷹野学術振興財団	学部1～3年・修士1年 科学技術関係を専攻している学生で卒業後は製造業に就職 希望の者	若干名	600,000円(年額) ※期間は1年間	給付		△	○	直接応募 (2025.5.15)	・日本学生支援機構奨学金のみ併給可 ・留学生の場合は、日本語の会話・読み書きに習熟していること
18	(公財)志・建設技術人材育成財団	学部1年 兵庫県出身者で建設系(建築・土木)の学部で学ぶ者 卒業後、兵庫県内の建設系企業・官公庁等に就職希望であること	10名	500,000円(年額) ※修業年限4年を上限	給付		○	×	直接応募 (2025.5.31)	
17	(公財)戸部眞紀財団	学部3年以上・修士・博士 2025年4月1日現在で30歳以下の者で、化学、食品科学、 体育学/スポーツ科学、経営学を専攻する者	60名程度 (内 留学生5名)	60,000円(学部) 70,000円(大学院) ※期間は原則2年間	給付		△	○	直接応募 (web:2025.5.8) (郵送:2025.5.12)	・他の高額な給付型奨学金との併給の場合は給付額が 半額になる場合がある ・行事への参加、報告書の提出等あり
16	(公財)一正やまびこ財団	学部2年生以上・修士1年生 経済的支援を必要とする者	35名程度	30,000円 ※期間は最短修学期間	給付		○	×	直接応募 (2025.5.15)	・前年度のGPAが2.50以上の者

令和7年度【給付型奨学金(返還が不要)】募集一覧

学生支援課 奨学支援係

☆ 各奨学団体から案内が届き次第、この一覧を随時更新しています。

希望者は直接応募の奨学団体については、リンク先の財団HPより必要書類をダウンロードしてください。

直接応募以外の奨学団体については、ILIASの「奨学金情報」>1.令和7年度 奨学金募集一覧>1.令和7年度現在募集中の給付奨学金(返還が不要なもの)のご案内から必要書類をダウンロードしてください。

※申請期限の欄に「**直接応募**」となっている奨学金については、各自が奨学団体へ期限必着で申請してください。

令和7年12月24日

※掲載している奨学金は基本的に日本人学生対象となります。留学生の奨学金については留学生支援係に問い合わせください。

No	奨学団体名	募集内容等			給付 貸与	海外留 学 奨学金	併給	留学生 申請可 否	申請期限	備 考	
		応募対象	応募人員	奨学金月額							
15	公益信託 池田育英会トラスト	学部2年生以上・大学院生	5名	17,000円 ※正規の最短修学期間	給付		○	×	直接応募 (2024.5.9)	年度終了後、報告書の提出あり	
		愛媛県内の高校卒業者または保護者が愛媛県内に居住している者									
14	(一財)上田記念財団	学部3年・修士1年	学内枠 3名	60,000円 ※原則として2年間	給付		○	×	2025.4.11	・学部3年生は23歳未満の者 ・修士1年生は25歳未満の者	
		土木工学系の学生									
13	(公財)旭硝子財団	修士1年・博士1年	学内枠 修士、博士各1名 修博一貫1名	100,000円(修士) 120,000円(博士) 250,000円(修博一貫・博士)	給付		△	×	2025.4.17	・他機関から月額12万以上の併給不可 ・7月16日(水)開催の授与式に参加できる者 ・修博一貫奨学生制度、及び海外研究活動支援奨学金あり	
		一貫制博士1年は修博一貫又は修士枠にて応募可									
		一貫制博士3年は博士枠にて応募可									
12	(公財)古泉財団	2025年4月1日時点で学部2年生の方	学内枠 2名程度	20,000円 ※正規の最短修学期間	給付		△	×	2025.4.11	・給付型奨学金との併給不可 ・学力の基準はGPAが2.5以上の者 ・家計基準は世帯人員、就業者の有無等により異なる	
11	(公財)吉田育英会 (カーターセンター インターシップ奨学生)	大学院生	1名	月額2,500米ドル ・留学先までの往復交通費 ・支給開始から9か月間	給付		○	×	直接応募 (2025.4.25)	・カーターセンターの活動分野に関する経験のある者 ・カーターセンターで調査研究を行う優れた英語力のある者 ・奨学生はインターン開始の2025年8月下旬までに渡米	
		学士以上の学位を取得している者									
10	(公財)吉田育英会 (2025年秋季／2026年春季 奨学生募集 <マスター21>)	学部4年(修士・一貫制博士課程入学希望者)	学内枠 1名	・月額8万円または 学校納付金実費 ・海外研究活動支援	給付		△	×	2025.4.25	・2025年4月1日現在、27歳未満である者 ・併給を可能とする給付奨学金に条件あり ・行事への参加、報告書の提出等あり	
		2025年9月または2026年4月入学予定者 進学先大学院において自然科学系分野を専攻する者									
9	(一財)未来応援奨学金にいがた	学部・修士 経済的支援を必要とする者 令和7年3月1日時点で出身世帯の住民票が新潟県にある者	若干名	30,000円	給付		○	×	直接応募 (2025.4.7) ※2025.3.10～	・給付期間は令和7年4月から最短修業期限	
8	(公財)サトウ食品奨学財団	学部生(2年生以上)	学内枠 3名	40,000円 ※期間は1年間	給付		○	×	2025.4.18	・他奨学金との併給可 ・経済的には裕福とは言い難い者	
7	(公財)吉田育英会 (2025年秋季／2026年春季 予約奨学生募集 <ドクター21>)	修士2年(博士入学希望者)・一貫制2年(3年進学予定者)	5名程度	・月額20万円 ・学校納付金実費 ・海外研究活動支援	給付		△	×	直接応募 (2025.4.9)	・2025年4月1日現在、30歳未満である者 ・併給を可能とする給付奨学金に上限(年間100万円)あり ・日本学術振興会特別研究員(DC1,DC2ともに)は併給不可	
		2025年9月または2026年4月入学・進学予定者 進学先大学院において自然科学系分野を専攻する者									
6	(公財)キーエンス財団 (がんばれ！日本の大学生応援給付金)	学部生(2年生以上進学者)	3500名程度	30万円(一括給付)	給付		○	×	直接応募 (2025.4.16) 2025.3.3よりWeb登録	・予備選考(Web登録)後、本選考(書類提出とWeb登録) ・当給付金を受給したことがない者 ・当財団の奨学生ではない者	
		2025年4月1日現在で23歳以下の者									
5	(公財)フジシール財団	学部3年生・修士1年生・学部3年生の留学生	1名(学部)	70,000円(学部)	給付		△	○	2025.4.7	・貸与奨学金との併用可。給付型奨学金は海外留学支援奨学金のみ併用可	
		応用化学、機械工学、電気電子工学、高分子工学等の工学系の学生でパッケージに興味・関心のある者	2名(修士) 2名(留学生)	80,000円(修士) 100,000円(留学生)						・財団主催の認定式、研修会に出席すること ・報告書等の提出を求められることがあり	
4	(公財)本庄国際奨学財団 (2025年度海外留学日本人大学院生 奨学生)	学部・修士・博士(年齢制限あり)	5名	・US\$ 2,500 1～2年 ・US\$ 2,250 3年 ・US\$ 1,875 4～5年	給付	○	△	×	直接応募 (2025.4.30)	・月額はいずれかのコースを選択し留学先の現地通貨 ・留学先の指定はないが、語学研修は不可 ・2カ月に1回レポート提出、6カ月に1回オンラインによる面談あり	
		2025年9月以降海外の大学院に在籍または入学する者 大学院修了後、日本で仕事をする意思のある者									
3	(公財)G-7奨学財団	学部・大学院生	後報	年間上限 1,200,000円 ※期間は1年間	給付		○	×	2025.4.10	・他奨学金との併給可(支給額調整の可能性あり) ・学力基準:学部1年生は、高校評定4.0以上の者 学部2年生以上は、GPA3.1以上の者	
		経済的理由により学業の継続が困難な大学生 大学院生で、次代を担う創造的で豊かな人間性を備えた人材									
2	(公財)日本通運育英会 (日本通運交通遺児等支援奨学金)	学部(2025年4月現在 21歳以下の者)	20名程度	30,000円	給付		○	×	直接応募 (2025.5.15)	・保護者等の重度の心身障害には条件あり ・本人の場合には、交通事故との因果関係が認めらること ・家計基準あり	
		交通事故により保護者等を失うか重度の心身障害を負った方 あるいは本人が交通事故により障害や傷病を負った方									
1	(公財)キーエンス財団 (給付型奨学金)	学部生(新1年生入学者)	700名程度	100,000円 ※期間は最短修学期間	給付		△	×	直接応募 (2025.4.4)	・給付奨学金併用不可(但し、修学支援制度併用可) ・財団HPにて必要事項及び小論文をWeb登録 ・二次選考にてWeb登録及び応募書類を送付	
		2025年4月1日現在で20歳以下の者									